



二輪草だより

平成31年3月号
発行:二輪草センター

センターの活動予定

- ◆4月上旬 女性医師在籍状況調査
- ◆4月下旬 二輪草プラン推進委員会議 二輪草だより4月号発行

「Woman in Surgeryキャリアシンポジウム」参加報告

二輪草センター助教 菅野恭子

2019年2月15、16日米国フロリダのタンパで開催された、Woman in Surgery キャリアシンポジウムに参加しました。この会は今から10年前の2009年セントラルフロリダ大学外科のRoss教授が中心となって始めた会で、当初少数であった米国の女性外科医がどのようにキャリアを形成していったらよいかを考えるために、様々な分野で活躍されている先輩女性外科医の講演を聴き情報交換するのが目的です。現在では様々な国、立場、年代の人が集まり成功へのステップについて考える機会を与えてくれています。Ross教授自身



4人の子供を育てながらキャリアを積み現職に至りますが、その道のりは決して容易ではなかったそうです。それでも自分を信じ、オープンマインドで成功を手にしてほしいと熱く語っていました。

今回話題になったのはキャリア形成の方法の他、燃え尽きないためにどうするか、ソーシャルメディアとのつきあい方、キャリアダメージにどう対処するか、現代のリーダーシップ、メンターシップについてです。パネルディスカッションでは5世代の先生方が登壇しそれぞれの立場から仕事への向き合い方、価値観の違いについて話し合われました。独身女性医師によるパネルディスカッションでは、どのようなパートナーを選んだら良いかという質問に対しサポートティブな人が良いなど率直な意見がでて盛り上がりしました。

将来外科医を目指す医学生、研修医も多数参加しており、みなさん目を輝かせながら先輩医師の話に耳を傾けていました。今回この会に参加して感じたのはアメリカで話題となっている女性医師が直面する問題の多くが日本にも当てはまるということです。また、専業主夫と結婚し夫に子育てを任せている先生や3人のベビーシッターを雇っている先生方もいるということ聞き子育てに対する価値観の違いを理解しました。

米国ではこの10年で女性外科医が倍増したそうです。日本においても多くのモデルケースの意見を紹介し、早い時期から自身のキャリア形成について考える機会を作る場を提供する重要性について再認識しました。



病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【2月20日～3月19日までの利用状況】

病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	16回	稼働回数	14回
病児・病後児保育室	依頼回数	29回	利用回数	25回
カウンセリング相談			利用回数	3回

* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

第32回 二輪草セミナー 終了報告

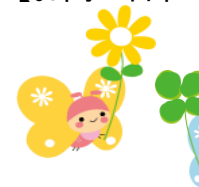
二輪草センター助教 菅野恭子



平成31年2月8日に第32回二輪草セミナーが開催されました。今回はご両親が共働き医師であるお二人の先生方にご自身がどのように育てられ、医師を志すようになったかについてお話し頂きました。まずお一人目は市立札幌病院研修医の横関恵先生に「恋人に「女医の娘って可哀想だよ」と言われた話」という気になるタイトルでお話し頂きました。横関先生は父親が整形外科医、母親が皮膚科医であり、お母様は医学部卒業後早い時期に2人の子供を産み、その後フルタイムで働かれていたそうです。保育園に入る前は母方の祖父母の家に預けられ、その後は保育園、学童保育所を利用していましたが、うまく馴染め、寂しかった記憶はないそうです。週末は回診に同行した後、遊園地に行ったり、映画をみたり、バーベキューをしたりと家族と楽しい時間を過ごされていたそうです。高校生の途中まで、自分は絶対に医者にはならないと考えていたそうですが、高校3年の全国大会をきっかけに医者の道に進むことを決意したそうです。研修先や入局先を選ぶ時期に何が問題になるか、助けてくれる人はいるのかを考え、自分のやりたいことを優先し糖尿病内科への道を選択されたそうです。続きまして第3内科の長谷部拓夢先生にご講演頂きました。以前このセミナーでご自身が医師である両親にどの様に育てられたかについてお話しして頂きましたが、今回はその後父親になられ育児体験についてお話し頂きました。研修中はお互い忙しく、すれ違いの生活でしたが留学先のアメリカに奥さんが同行してくれた際、充実した生活を送られたそうです。その後長女が誕生しますが、大学院卒業にむけて実験が忙しくなかなか育児に参加できなかったそうです。その際もお互いのご両親のサポートがあり助けられたそうです。長男が生まれた後はなるべく早めに帰宅し長女のお世話や保育園の送り迎え、おむつ替えなどを積極的にされているそうです。幼少期に経験したアメリカでの生活が留学につながったこと、夫婦で留学することの良さ、夫婦助け合うことの大切さを力説されておりました。

最後になりましたが、お忙しいところ札幌から来て頂きました横関先生、2回目の講演にも関わらずご快諾して下さいました長谷部先生および聞きに来て下さった職員や学生の皆様にお礼を申し上げます。これからも育児や介護をはじめ様々なテーマで実りあるセミナーを企画したいと思いますので是非多くの方にご参加頂ければと思います。

【お問い合わせ先】



旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249
開設時間8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp
ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>